

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 11 月 24 日 (2006.11.24)

【公表番号】特表 2006-507959 (P2006-507959A)

【公表日】平成 18 年 3 月 9 日 (2006.3.9)

【年通号数】公開・登録公報 2006-010

【出願番号】特願 2004-557133 (P2004-557133)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/12 (2006.01)

B 3 2 B 27/30 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/12

B 3 2 B 27/30 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 5 日 (2006.10.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

更に、布は、所望される付加的な性能特性を付与するために、付加的な物質、例えば帯電防止剤、抗菌剤などを受け入れることができる。布は、低表面エネルギー防汚化合物により処理された繊維布を供給し、布基材と協働して、ASTM D751 (2001) に従って試験して少なくとも約 0.55 lbs/in²、好ましくは約 1 lbs/in² 以上の結合強さ、少なくとも約 50 mb、より好ましくは少なくとも約 100 mb の静水耐圧性、及び AATCC Test Method 118-1997 に従って試験して約 3 以上の油評点 (oil rating; 撥油性) を有する布を提供する物質の少なくとも 1 層、好ましくは 2 層又はそれ以上を適用することにより、製造することができる。好ましくは、布は、SAE J1885 MAR92 に従って測定して、4 インチ未満の燃焼速度、及び 225 kJ で約 4.0 又はそれ以下の E (良好な耐 UV 耐色性を示す) も有する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

布は、あらゆる種類の繊維及び / 又はヤーンから製造することができ、繊維及び / 又はヤーンは、特定の布及び予定される最終用途について布特性を最適化するように選択される。例えば、溶液 (原液) 染色されたポリエステルヤーンは、本発明の布において優れた性能を発揮することが分かっている。しかしながら、ポリエステル、ナイロン、ポリプロピレン及びアクリルのような合成材料、及び綿、ウールのような天然繊維を含む他の種類の材料も使用できるが、これらに限定されない。更に、布基材は、所望によりパルプ繊維を含み又はパルプ繊維から本質的に形成されてよい。また、ヤーン寸法は、特定の用途に対して布を最適化するように選択することができる。例えば、太デニール、細デニール、分割性繊維、ミクロデニール繊維、紡績又はフィラメントファイバ、テキスチャード加工及びフラットファイバ、並びにこれらの組み合わせを、本発明において使用することができる。さらに、布は、フラットタイプ布 (例えば平織り布)、フラシ天又はパイル布、若

しくはスエード調布であってもよい。本発明のある態様では、毛羽立ち表面を有する布基材が最終構造において特に望ましい結合強さを有する傾向があることが見出されている。そのような毛羽立ち表面は、この技術分野では既知であり、例えば、布構造に毛羽立ちヤーンを含ませること、布構造を構成するヤーンを機械的又は化学的に研磨することなどにより、得ることができる。例えば、本発明において優れた機能を発揮することが見出されているヤーンの１種は、Albi-type テキスチャード加工ヤーンであり、これは、多数の微小繊維（フィブリル）から形成された毛羽立ち表面を有するテクスチャード加工ヤーンである。